

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
(45)【発行日】平成24年11月19日(2012.11.19)
(12)【公報種別】意匠公報(S)
(11)【登録番号】意匠登録第1455867号(D1455867)
(24)【登録日】平成24年10月19日(2012.10.19)
(54)【意匠に係る物品】コマ
(52)【意匠分類】E2-401
(51)【国際意匠分類(参考)】21-01
(21)【出願番号】意願2012-12409(D2012-12409)
(22)【出願日】平成24年5月27日(2012.5.27)

(72)【創作者】

【氏名】橋爪 良博

【住所又は居所】長野県伊那市富県7361番地 有限会社スワニー内

(72)【創作者】

【氏名】白川 徹

【住所又は居所】長野県伊那市富県7361番地 有限会社スワニー内

(73)【意匠権者】

【識別番号】512031183

【氏名又は名称】有限会社スワニー

【住所又は居所】長野県伊那市富県7361番地

(74)【代理人】

【識別番号】100169188

【弁理士】

【氏名又は名称】寺岡 秀幸

【審査官】富永 亘

(55)【意匠に係る物品の説明】本物品は、上部側から下部側に向かうに従って段階的に径が大きくなる棒状のコマ本体の周面に5つの花びら状の部材が取り付けられているコマである。その花びら状の部材のうち、正面図における下側の端部は、コマ本体の最大径部分の周面で固定されている。その固定は、花びら状の部材の正面図における上側が、コマ本体から離れるよう、およびコマ本体に近づくように回動する回動軸となるように固定されている。また、その固定状態では、花びら状の部材の正面図における上側が、コマ本体側に付勢されている。本物品であるコマを使用、すなわち回転させると、その回転の遠心力によって上記付勢力に抗して、花びら状の部材が上記回動軸を軸として回動する。すると、花びら状の部材の正面図における上側が、コマ本体の周面から離れて、あたかも花びらが開くように動く。そのように花びら状の部材が開いた状態は、コマ全体を花として見ると、開花したように見える。そして、その回転速度が落ちて上記遠心力が弱まると、花びら状の部材が上記付勢力によって閉じて、本物品のコマが回転させる前の状態に戻る。回転速度はゆっくりと落ちていくため、コマ全体を花として見ると、花びらがゆっくりと萎んでいくように見える。ここでたとえば、コマ本体の色を黄色がかった色とし、花びら状の部材の色を桃色がかった色とすることによって、本物品のコマは、コマ本体を雄しべまたは雌しべ、花びら状の部材を花びらとするソメイヨシノ等の桜の花に見える。

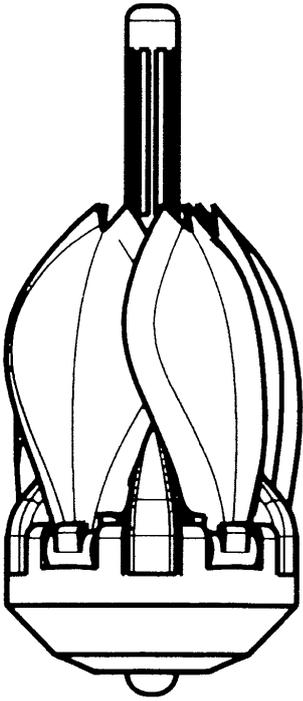
(55)【意匠の説明】本件意匠は、本物品であるコマの有する、その回転による遠心力の変化に伴い花びら状の部材が動く機能に基づいて、コマ全体の形状が変化する動的意匠であって、意匠法第6条第4項の規定によって意匠登録を受けようとするものである。

【図面】

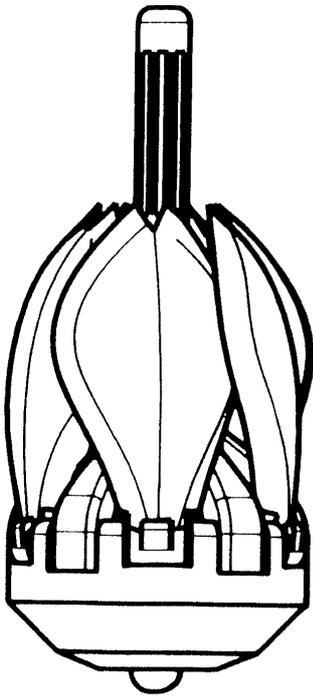
【正面図】

(2)

意匠登録1455867



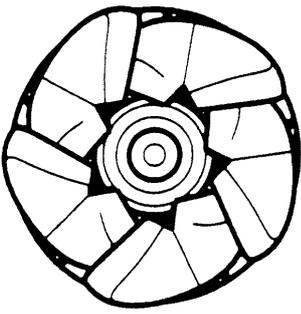
【背面図】



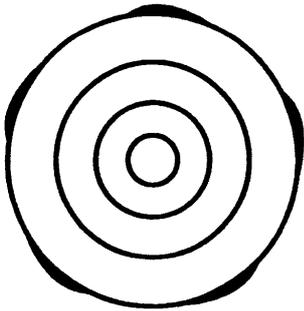
【平面図】

(3)

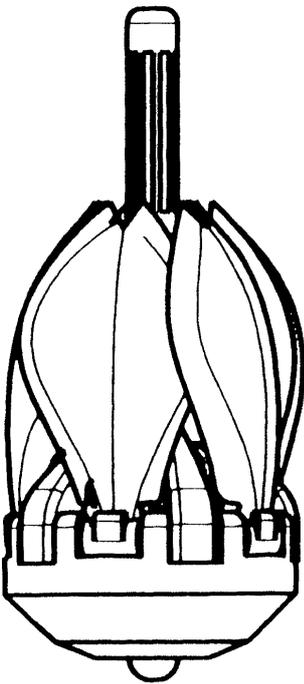
意匠登録1455867



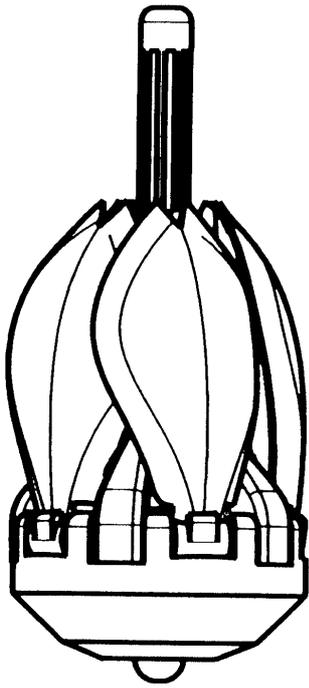
【底面図】



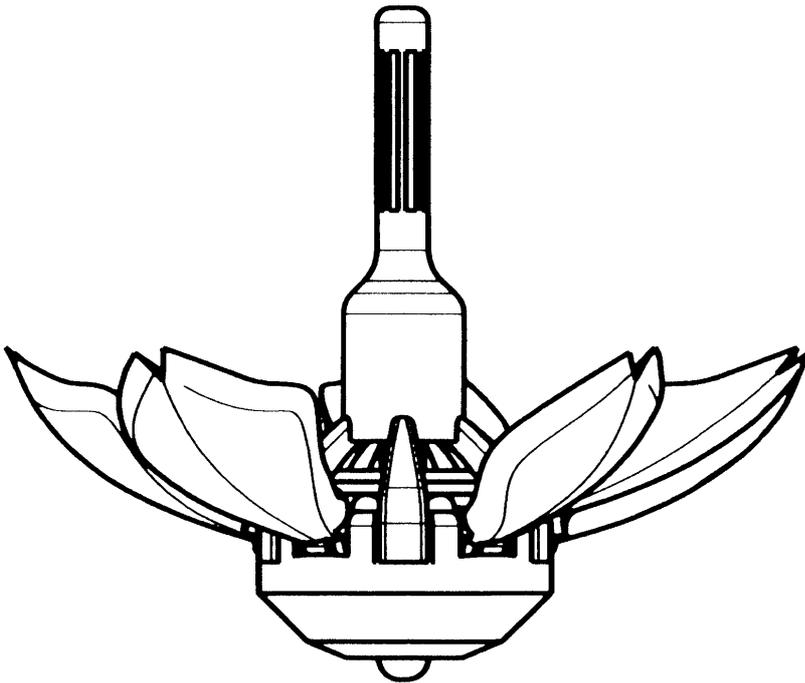
【右側面図】



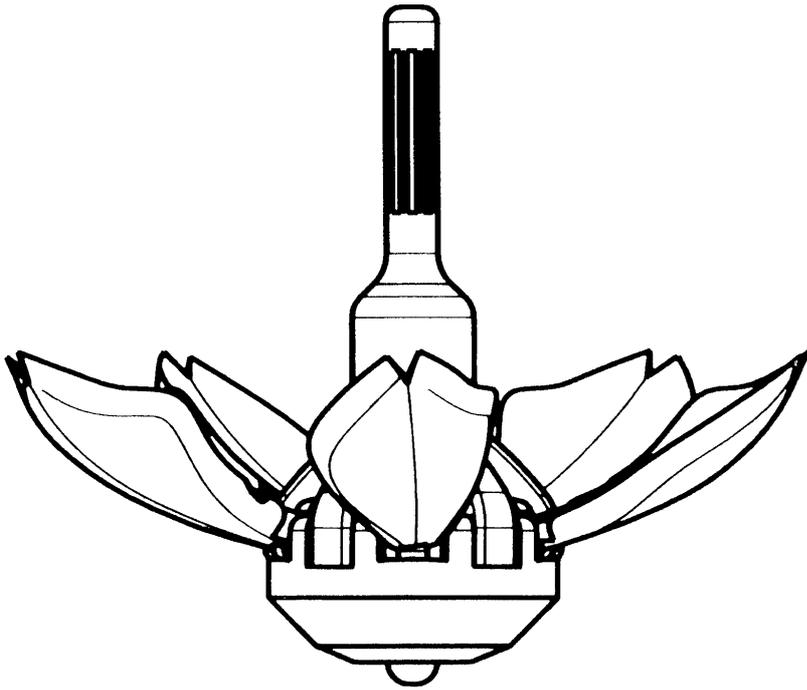
【左側面図】



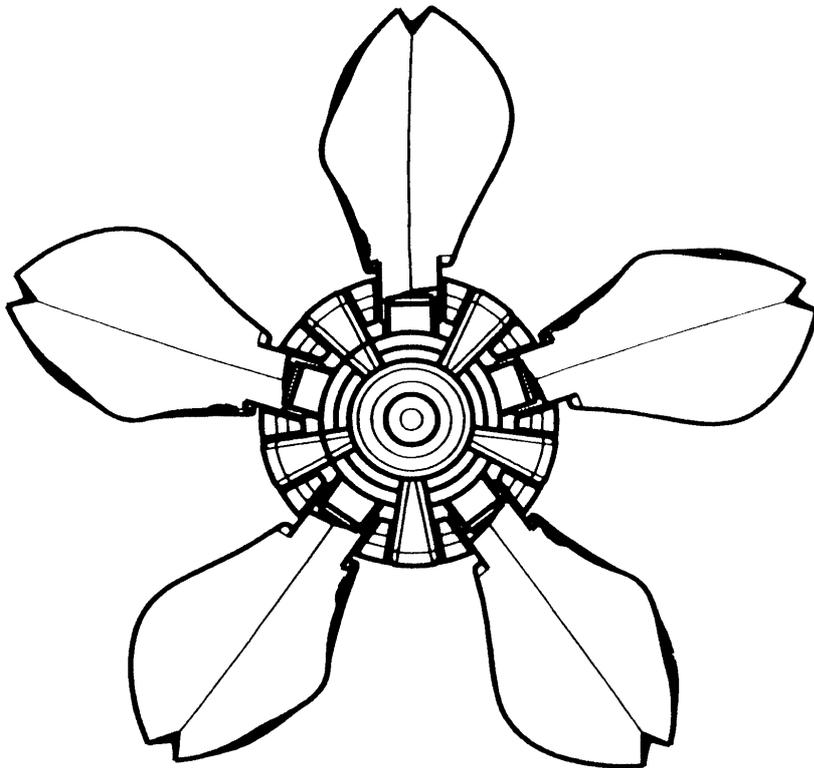
【回転状態を示す正面図】



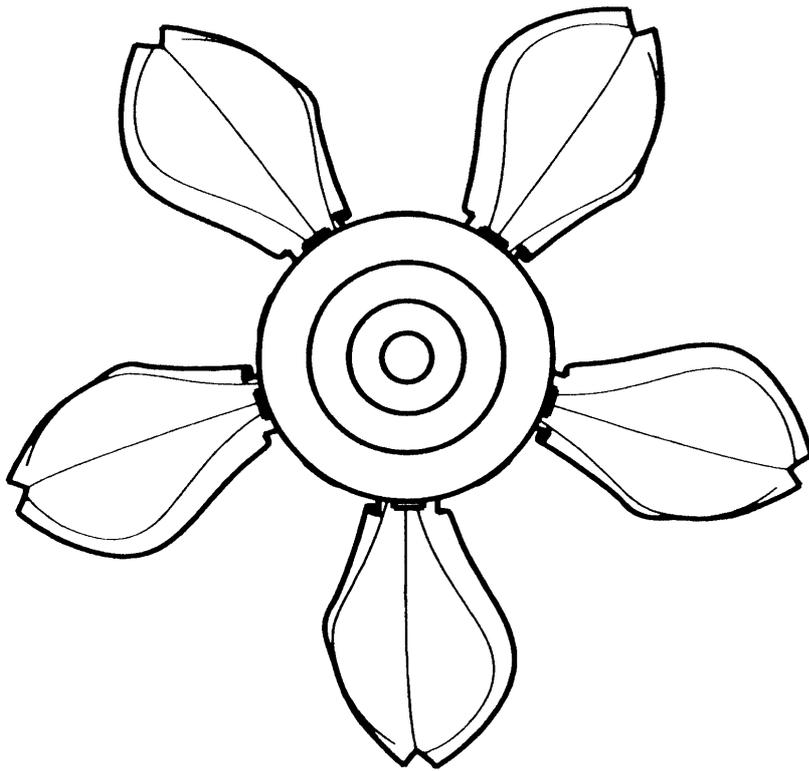
【回転状態を示す背面図】



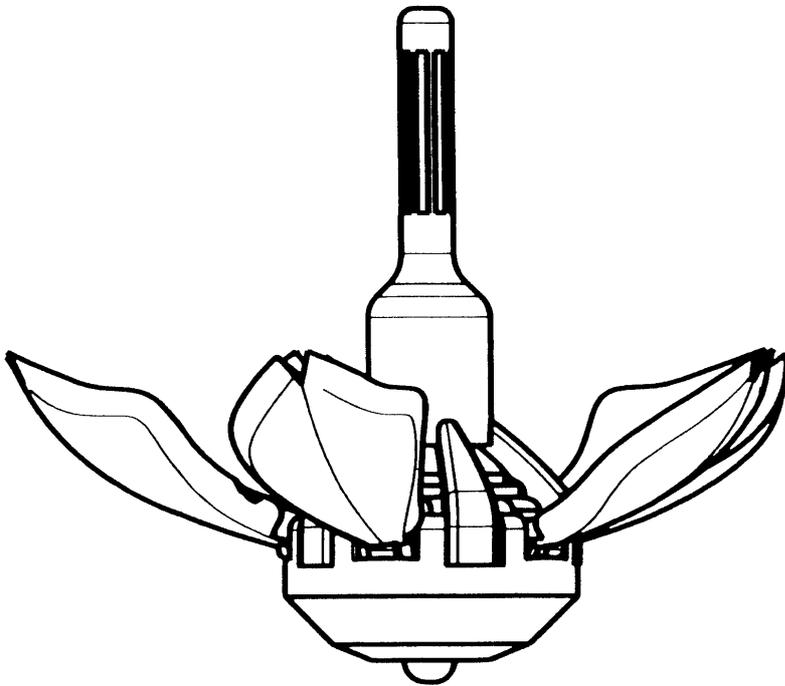
【回転状態を示す平面図】



【回転状態を示す底面図】



【回転状態を示す右側面図】



【回転状態を示す左側面図】

(7)

意匠登録1455867

